

ジオパーク認定向け 重視すべき場所助言 犬山で地層勉強会

犬山市の太古の地層に注目し、観光資源としての可能性を検討している名古屋経済大（同市内久保）は、犬山地層勉強会を犬山商工会議所研修室（同市天神町）で開いた。

豊橋市自然史博物館長の松岡敬二さん（六四）が講師を務め、「東三河ジオパーク構想の現状―犬山地域のジオパークに向けて」と題して講演した。

松岡さんは「東三河は日本列島の成り立ちを考える上で重要な位置にある」と指摘。地質や地形、自然、



講演する松岡さん＝犬山市の犬山商議所で

を教育や観光に活用するジオパーク認定を二〇二三年から地元八市町村で目指し

ていることを紹介した。犬山地域がジオパークを視野に活動する際、重視すべき場所も助言し、日本ライオン、落葉高木のヒトツバタゴ自生地などを挙げた。

犬山地層勉強会は、名経大の犬山学研究センターを中心に市、犬山商工会議所が協力して開き、今回で六回目。